



RI テーマ **Rotary Serving Humanity**
人類に奉仕するロータリー

クラブテーマ 『多様性そして和』

2016-2017

会 報 No. 993 豊橋東ロータリークラブ

第 41 回例会

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：松下泰三 副会長：及部多高 幹事：平野正博 会報・雑誌委員長：鎌田哲也

平成 29 年 5 月 17 日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋4F ザ・テラスルーム 担当：社会奉仕／国際奉仕

ロータリーソング「我らの生業」/「四つのテスト」 唱和：鈴木 雅晶さん

株式会社今西組 専務取締役 今西 良介 氏

ゲスト (国際ロータリー第 2660 地区 ロータリー財団補助金小委員長・大阪南 R C 所属)
米山奨学生 アルタンフヤグ ヒシグオチル 君

出席報告	会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	4 月 26 日修正出席率	ビジター
	43 名	41 名	2 名	15 名	63.41%	82.93%	19 名

会長挨拶 松下 泰三会長

以前私の事務所で働いていた某弁護士、小さい子供が二人いて、奥さんも名古屋の事務所に務める弁護士、家事育児が大変でしたが、彼はよく頑張っていました。私の事務所では定期的に飲み会をしていますが、彼は宴の途中で「子供の世話があるのでこれで帰ります」と言って帰ることがよくありました(彼の家は名古屋、遠距離通勤)。このとき私はいつも、山上憶良の歌「憶良らは、今は罷(まか)らむ子泣くらむその彼(か)の母も吾を待つらむぞ」を思い出しました。そして残された私は、大伴旅人になった感覚に襲われました。

というのも、この山上憶良の歌は、大宰府に大伴旅人が長官で憶良がその部下としていた時期に、旅人が催した宴で歌われたものではないか、と言われているからです。万葉集では、この憶良の歌に続けて、旅人の酒を讃える歌が 13 首続きます。「憶良は俺に付き合わずに帰ってしまった。おい皆、宴はまだ続けるぞ。酒だ酒だ!」という旅人の声が聞こえそうです。私もそんな感じに襲われました。

本日のプログラム

「ヒマラヤ・マナスル登頂 60 周年
ネパールを知る」

(株)今西組 専務取締役 今西 良介 氏

2660 地区 2015-2016 地区補助金実績は地区補助金 37 件。プロジェクト総額平均一件あたり 45 万円。国内国際奉仕 10 件(台湾、タイ、フィリピン、インドなど)。奨学生・VTT3 件(インドネシア)。グローバル補助金 5 件。プロジェクト総額平均一件あたり 500 万円(台湾、タイなど)。内奨学生 1 件(オーストラリア)。



ネパールでの現地の奉仕活動は現地(受益者)とそのニーズを重視して立案されればスムーズと思われる。現地に赴く際には電力事情は悪く、自家発電を備えてはいるが、氷、ミルク、生野菜は避ける。ビールは約四種類あり、どの銘柄も美味しく試す価値はある。主食は米。日本のネパールレストランにあるようなナンは現地にはほとんどな

い。11 月はティハールというお祭りの時期でお休みのお店が多いが楽しめる。正式国名はネパール連邦民主共和国。首都、カトマンズ。面積、14.7 万 km² (北海道の約 1.8 倍)。人口、約 2,649 万人。ネパールは日本の奄美大島とほぼ同じ緯度であり、標高の高いところに行かない限り年間を通じて温暖な気候である。冬場は日中と朝晩の気温差があり、旅行には必ず厚手の上着等が必要。(カトマンズ 12 月 20°C~2°C ポカラ 12 月 20°C~7°C) 民族構成、101 民族以上。部族語や方言は 92 言語以上。言語、公用語はネパール語。観光業や貿易従事者は英語も話す。宗教はヒンドゥー教徒 (81.3%) と仏教徒 (9.0%) が大半を占めイスラム教徒 (4.4%) も含め 330 万の神がいる。ネパールは神々の棲む都カトマンズや、仏教徒が憧れるお釈迦様生誕の地ルンビニなど、宗教が平和的に混在する神秘の国である。北は中国のチベット自治区、東・西・南はインドと国境を接する。最低標高はカンチャン・カランの海拔 70 メートルで、最高標高はエベレスト山頂の 8,848 メートル。世界に 14 ある 8,000 メートル級の最高峰のうち、8 つがネパールにある。服装は、民族によるが、インドのように女性はサリーを正装や制服として着用する。男性はドウラという長袖のスタンドカラーと、スルワールと呼ばれるゆったりしたズボンが正装になる。また、縁なしの帽子トピーをかぶる人も多く目にする。公用語はネパール語。イギリスとの関係が深く、都市部の私立学校は教育公用語のため、英語も比較的よく通じる。1956 年 (昭和 31 年) 5 月 9 日、今西組の会長故今西壽雄がネパールのマナスル (8,163m) へ世界初登頂を成し遂げ、これがきっかけで日本とネパールに国交が樹立される。それ以降、ネパールへ登山や観光だけでなく、学校を建設、ボランティア活動などでネパールを訪れる日本人は年間 2 万人ほどいる。また、ネパールからは日本の発展した科学技術を学ぶために研修生が企業から派遣され、日本語を学ぶ留学生も増加している。大阪領事館は 1993 年 5 月 20 日に開館、年間 3,000~4,000 件のビザの発給を行っている。大阪の領事館にはネパール人は在籍せず、今西組、会社内にてビザ発給などの業務を運営している。

写真・原稿：居平 文孝 さん